

事業者排出削減報告書

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	京都市北区柴野北花ノ坊町 96								
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	学校法人 佛教教育学園 理事長 水谷幸正								
事業者の主たる業種	教育事業								
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第1号該当事業者(大規模エネルギー使用事業者(原油に換算して1,500キロリットル以上)) <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第2号又は第3号該当事業者(大規模運送事業者(トラック又はバス100台以上/タクシー150台以上/鉄道車両150両以上)) <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第4号該当事業者(その他の温室効果ガスの大規模排出事業者(二酸化炭素に換算して3,000トン以上))								
計画期間	平成20年4月～平成23年3月								
基本方針	平成20年度～平成22年度の間は、毎年1%を目途に削減推進を実施する。								
推進体制	寮長を対策本部長とし、施設部長以下施設課長、課員を中心に、全教職員の意識向上を再度呼びかけ、削減推進を図る。 環境マネジメントシステム名称 適用範囲 取得年月日								
年度ごとの具体的な取組及び措置の状況	年度	設備、対象、工程等	措置内容						
	平成20年度	設備	佛教大学の付属幼稚園に於いて、平成20年8月よりデマンド監視業務委託契約により、省エネを行った。						
	21～22年度	校舎のA、B棟リニューアル	A棟5階建、B棟5階建の設備等の省エネおよびCO2削減の思考を行う。						
	21～22年度	省エネ等の外部委託	国の省エネ政策(賦課金制度含)等を考慮して、府、市、ESCO事業、省エネセンター等の協力を得て、省エネ等を行う						
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度(実績) (19)年度 (二酸化炭素換算)	目標年度(計画) (22)年度 (二酸化炭素換算)	増減率 (計画)	報告年度(実績) (20)年度 (二酸化炭素換算)	増減率 (実績)			
	A 事業所等排出区分	4,051.4 t	3,918.7 t	-3.3 %	3,847.9 t	-5.0 %			
	B 輸送車両排出区分	t	t	%	t	%			
	C その他排出区分	t	t	%	t	%			
	排出合計	*1 4,051.4 t	*2 3,918.7 t	-3.3 %	*4 3,847.9 t	-5.0 %			
	実績に対する自己評価	華頂短期大学内に於いて、幼稚園棟を取り壊し、新6・7号棟を新設によりH20年9月完成し、その間エネルギー使用量が減少したため二酸化炭素換算で231kl減となった。							
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度(実績)	目標年度(計画)	増減率(計画)	報告年度(実績)	増減率(実績)		
	佛教大学	二酸化炭素換算 延床面積	0.044 t-co2/m ²	0.042 t-co2/m ²	-4.5 %	0.038 t-co2/m ²	-13.6 %		
	華頂短期大学	二酸化炭素換算 延床面積	0.055 t-co2/m ²	0.053 t-co2/m ²	-3.6 %	0.018 t-co2/m ²	-67.3 %		
		二酸化炭素換算			%		%		
	実績に対する自己評価	佛教大学に於いて、幼稚園にてデマンド監視業務委託契約を平成20年9月より行いデマンド170KW→140KW減少半年でCO2換算で約10kl減少又図書館に於いて、日照調整フィルムを421㎡添付工事を行った。後は華頂短期大学増設							
その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等	対策等の区分	目標年度(計画)			報告年度(実績)				
		取組量等	(二酸化炭素換算)		取組量等	(二酸化炭素換算)			
	森林の保全及び整備	(植樹面積)	ha	(吸収量)	t	(植樹面積)	ha	(吸収量)	t
	府内産の木材の利用	(利用量)	m ³	(削減量)	t	(利用量)	m ³	(削減量)	t
	自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給	(発電量)	kwh	(削減量)	t	(発電量)	kwh	(削減量)	t
		(熱供給量)	GJ	(削減量)	t	(熱供給量)	GJ	(削減量)	t
	グリーン電力の購入	(購入量)	kwh	(削減量)	t	(購入量)	kwh	(削減量)	t
	家庭における温室効果ガス排出量の削減効果分の購入	(購入量)	t	(削減量)	t	(購入量)	t	(削減量)	t
	削減量等合計			*3	t			*5	t
差引排出量 (排出合計-削減等合計)	基準年度(実績)	目標年度(計画)	増減率(計画)	報告年度(実績)	増減率(実績)				
	1 4,051.4 t	()-(*)3 3,918.7 t	-3.3 %	(*)-(*)5 3,847.9 t	-5.0 %				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	「DO, YOU, KYOTO?プロジェクト」ライトダウン登録実行								
特記事項	今年度は、計画内容に対して、下記の項目を実行した。 1. 佛教大学付属幼稚園に於いて、平成20年8月よりデマンド監視業務委託契約により省エネを行った。 2. 佛教大学内のメインホールの水銀ランプ及び安定器を省エネ用に交換し、38KW/H削減できた。 3. 岩倉グラウンド等にて外灯、通路灯を省エネ用35W→12Wに138灯交換した。 4. 佛教大学内の図書館棟において、日照調整フィルム(ライトニッケル50)421㎡添付し省エネを行った。								

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外の事業者の方はレ印の記入は不要です。
 2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のうち、今回報告の対象となる年度をいいます。
 3 「事業所等排出区分」とは京都府内の事業所等の事業活動のためのエネルギーの使用に伴い発生する温室効果ガスを、「輸送車両排出区分」とは自動車運送事業者については使用の本拠の位置を京都府内とする車両の排出する温室効果ガスを、鉄道事業者については保有する貨物車両又は旅客車両の排出する温室効果ガスを、「その他排出区分」とは上記以外の京都府内における事業所等の事業活動に伴い発生する温室効果ガスをいいます。
 4 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、〇〇工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標(生産数量、延べ床面積、走行距離等)を記入してください。
 5 「その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等」のうち「森林の保全及び整備」の「目標年度(計画)」欄には計画期間中の目標の累計を、「報告年度(実績)」欄には実績の累計を記入してください。
 6 「特記事項」には、平成2年度(1990年度)を基準とした排出量の対比や、省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達の実用、特定フロンなどの条指定外の温室効果ガスの削減などを記入してください。